

ミッシングリンク解消と
四車線化は地域の願い！

高速道路建設促進に関する要望

全国高速自動車道市議会協議会は、第三十八回定期総会において別記のとおり満場一致決議いたしましたので特段の措置を講ぜられるよう強く要望いたします。

決 議

高速自動車国道は、流通や観光などの経済効果によって、各地方が個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するための重要な社会基盤であるとともに、震災等災害時における救援、復旧活動のための緊急輸送及び広域救急医療などに資する「命の道」である。

しかしながら、高規格幹線道路網の供用率は未だ七割に過ぎず、引き続き景気の低迷、急がれる東日本大震災に伴う被災路線の本格復旧のほか、料金制度等の行方と相まって、特に地方圏における高速道路ネットワーク整備の更なる遅れが懸念されている。

高速道路はミッシングリンク（未開通区間）が解消されてこそ、その効果を最大限に発揮するものである。既存の高速道路の有効的な活用を促すためにも、高速道路ネットワークの早期整備を図ることが必要であるとともに、高速道路へのアクセス性を高める地域の高規格道路の整備を急ぐことが喫緊の課題となっており、これらに必要な道路整備財源を確保することが重要である。

よって、我々はここに総力を結集し、特に次の事項について実現を期すものである。

記

一、高速自動車国道を中心とした高規格幹線道路網の整備は国土建設の要であり、その政策の持続可能かつ明確な方向性を示すとともに、恒久財源の確保に万全を期すこと。

一、地域の自立支援や観光振興などに資するよう、ミッシングリンク（未開通区間）解消のための必要十分な予算を確保すること。

一、第四回国土開発幹線自動車道建設会議（平成二十一年四月）で決定された新規整備事業と四車線化事業については、所要の財源を確保のうえ早期に着工すること。

一、今後における料金制度については、利用者の混乱と不信を招かないよう、その具体案を早期に示すとともに、国土の均衡ある振興・発展を阻害することがないよう、本州四国連絡高速道路等を含め全国一律とすること。

右、決議する。

平成二十四年二月二十日

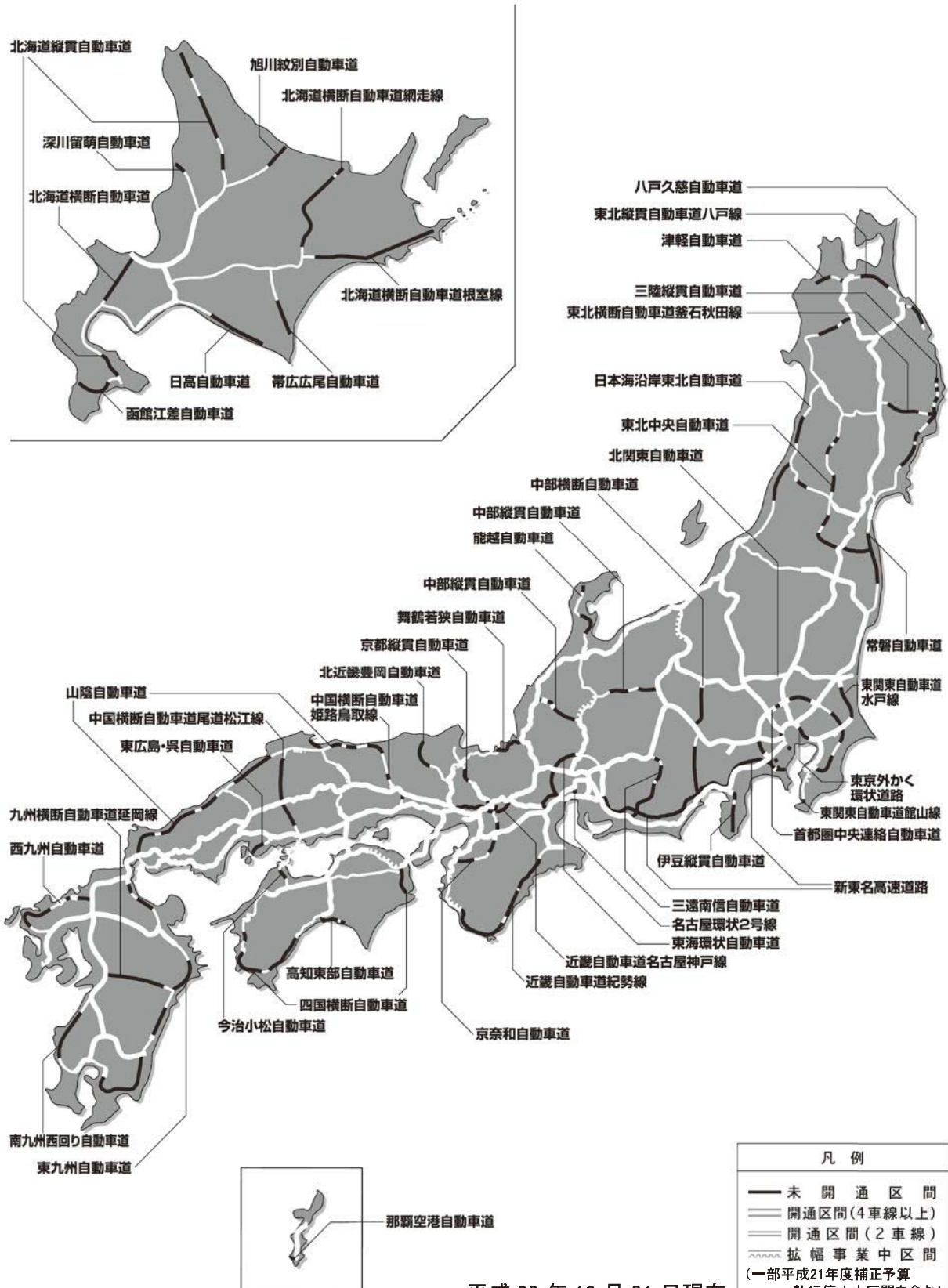
全国高速自動車道市議会協議会 第三十八回定期総会

会長 田村雄二

（苫小牧市議会議長）

高速道路のミッシングリンク

(未開通区間)



平成 23 年 12 月 31 日現在

【全国高速道路建設協議会提供】